

九州経済

ファクス 092 (711) 6249 メール keizai@nishinippon.co.jp

◆関西と九州の連携図る
関西の電子関連企業と九州企業の技術連携を図るフォーラムが21日午後1時から、福岡市博多区のTKPガーデンシティ博多アネックスである。新産業創出に取り組む京都リサーチパーク(KRP)、京都市)が初めて企画した。独自技術を持つ関西企業の事業説明やポスター展示など。基調講演ではトヨタ自動車九州(福岡県宮若市)の担当者が地元企業との連携を紹介する。無料(午後5時から交流会は2千円)。KRPの交流会は2千円。KRP 075(315)8617。

◆「デフレの正体」著者が講演
日本総合研究所の藻谷浩介主席研究員の講演会が31日午後7時から、福岡市・天神の福岡ガーデンパレスである。藻谷氏が「九州・東アジアの近未来と対応戦略」をテーマに持論を語る。参加費2千円。終了後は、懇親会(会費3千円、藻谷氏不参加)もある。定員100人。インターネット専用ページ <http://www.idea-pc.jp/ideaiku> から申し込み。NPO法人イデア九州・アジア 092(401)0877。

ウエスト(福岡市) 萩 正春常務



ひと

北部九州を中心に、うどん店や焼き肉店など約180店舗を展開する外食チェーン。「地場企業として地域文化に貢献したい」と、九州交響楽団への資金支援を決めた。

九響はリーマン・ショックや東日本大震災の影響で、2013年度は約800万円の赤字予算を組むなど財政難の

九響の自主公演を支援

状態。「支援の財源には限りがあるが、九響の自立を応援したい。ほかの企業にも賛同してもらえそうな、呼び水になりたい」と話す。

自身も学生時代はフルートやギターを演奏したクラシックファン。まずは、3月21日に福岡市で開かれる九響のファミリー向け自主企画「親子のためのコンサート」に約500万円を支援。成果を踏まえ、長期的なサポートのあり方を検討する。

気流

受験シーズンが到来。富士山の世界文化遺産登録が来した。私立中学は、「富士山は何県と何県は、既に年明けか」にまたがるか。「世界遺産を」試験が始まって選定する国連機関は「など、」いる。先日、「進研ゼミ」が大人でも答えに詰まる問題かまとめた中学受験の直前アドも▼アベノミクスの「三本のパイプ集を手にし」、「最後まで矢一や中国の大気汚染、TPで自分を信じて」など、受験Pも「重要」との位置づけだ。直前の過ごし方を興味深く読何より合点したのが「一番のんだ▼中学受験も社会科は時対策は、新聞を読む習慣」と事問題が出る。今更「あれも」のアドバイス。大学入試の「これも」とはいかず、テーマ論文も同じこと。昔も今も、を絞って覚える必要がある。時事問題は日頃から新聞を読む今年の「最重要」ニュースは、む人間が勝つ、はずだ。

全国経済は6面

福岡2014モーターショー

24~27日、マリな福岡一般
ンメッセで。一
ど3会場。前売110
1300円(前売り110
0円)、高校生800円
(600円)。事務局=092(711)5583。

「カロラアクシオ」のバイフューエル車を説明する古川克己社長



LPGとガソリン併用

バイフューエル車人気

大分の会社 長い距離 低燃費で 改造事業化

エフケイメカニク(大分市)が改造するバイフューエル車が人気だ。液化石油ガス(LPG)とガソリンの2種類の燃料を積みこむとで長い距離を走行でき、タクシーや営業車として広まりつつある。低価格でエコな改造車を知ってもらおうと、福岡県エルピーガス

共同で福岡モーターショーに初めて出展する。バイフューエル車は、ハイブリッド車(HV)やガソリン車の車体にLPGタンクやガス充填口、イタリヤから輸入したエンジン用の部品などを装着する。LPGがなくなるとガソリン

に切り替わる仕組み。トヨタのプリウスの場合、走行距離は1800キロで、燃料補給せずに福岡から青森まで走れる計算。改造費は50万~70万円。LPGは価格がガソリンの6~7割と安いのも魅力だ。

同社は1994年、電装部品をメンテナンスする事業所として創業。07年にバイフューエル車の改造を始めた。最初は年間3台だったが、長崎県でタクシーに

自動車の関連部品を強化

当社は(電池の最小単位の)地はある。原価低減ができればセル製造から組み立てまで全ば、まだいける」

てやっているため、工夫の余

—太陽電池の生産拠点を現

在の滋賀、三重両県以外に広げる予定はないか。

「既存工場に設備を入れて対応する。いまのところ工場の新設予定はない」

—鹿児島県にある川内(薩

悟郎社長



子部品などを保護するセラミックパッケージや自動車関連部品に力を入れていく。自動車関係は、京セラ全体で年間1300億~1400億円の売り上げがあり、今後3年間で倍以上にしたい」

—昨年夏、ベトナムに工場を新設した。国内の製造拠点を影響はないか。

「日本国内の工場は各所の

九州経済産業局が16日発表した昨年11月の九州の鉱工業生産指数(2010年=100、季節調整済み)は前月比0.1%低下の97.1だった。低下は2カ月連続。自動車の一部車種のモデルチェンジや生産地の海外移管による減産が響いた。基調判断は2カ月連続で「横ばい傾向」とした。

業種別では、15業種のうち、電子部品・デバイスや化学・石油石炭製品など9業種が前月から上昇。はん用・生産用・業務用機械

—太陽電池事業が業績をけん引している。

「昨年はスマートフォンや電子部品なども伸びたが、ソーラー事業は予想以上だった。太陽光で発電した電力の買い取り価格引き下げは大きなマイナス要因にはならない。米国やアジアが伸びており、今後も市場は拡大する」